いばらき市議会だより

No.244

令和４年（2022年）１月

令和３年11月25日から28日の間、市民の願いが書かれた短冊付の風鈴の音で、気持ちを明るくしてもらおうと一般社団法人茨木青年会議所により開催された風鈴ロード（茨木神社）

目次

年頭のごあいさつ　2
新年の抱負　2
市議会のうごき　4
追手門学院大学生と意見交換会を実施　5

新年号

あけましておめでとうございます。
本号では、会派や会派に所属しない議員それぞれの新年の抱負を中心に掲載しております。

編集／議会広報委員会　発行／茨木市議会
電話　(072) 620-1670　FAX　(072) 623-7591
https://www.city.ibaraki.osaka.jp/shisei_info/gikai/index.html

スマートフォン等で読み取ると市議会ホームページへアクセスできます。

年頭のごあいさつ

市議会議長
河本　光宏

市議会副議長
福丸　孝之

あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、新春をお健やかにお迎えのことと心からお慶び申しあげます。

昨年は、長引くコロナ禍の一方、ワクチン接種の進捗や新しい生活様式の実践、社会変化への対応等、日常生活の回復に向け、歩みを進めた一年でした。

そのような中、茨木市議会では、市民福祉の向上に寄与するため、議会改革を進めながら、議決機関としての役割を強化しています。中でも、議会基本条例の検証過程で抽出した課題の整理と対応、市の施策に対する検討等に加え、所管事務調査を積極的に活用し、政策立案や政策提言に向けた常任委員会活動をより活発化しました。

今後も、市民の信頼と負託に応え、市民に開かれた、活力と行動力にあふれる存在感のある議会をめざしてまいります。

本年も皆様にとって幸多き年になりますよう心から祈念いたしまして、年頭のごあいさつといたします。

新年あけましておめでとうございます

本年も市民の生命と生活を守るため、全力を尽くして参ります

夢と希望あふれる茨木へ　**公明党**

実現へ全力！

- 茨木市に必要な医療機能を有した総合病院の早期誘致
- 思い切った消費喚起対策で、市内経済を再生
- 多様性に応じた学び、生きる力を育む教育
- 市民会館跡地エリア新施設を市民に親しまれる賑わい拠点に
- 安威川ダム湖周辺整備で、北部の魅力を推進

日本共産党

畑中 剛　朝田 充　大嶺 さやか

新年あけましておめでとうございます。

今年も日本共産党は市民と野党の共闘をさらに発展させ、なにより命が大切にされる政治のために全力を尽くす決意です。

さて、一昨年以来のコロナ禍において、党市議団はコロナ対策の充実を求めて計8回にわたる申し入れを市長におこない、自宅療養者支援制度などをはじめ要望項目の約4割を実現させることができました。ひきつづき市民のみなさんの命とくらしが守られるよう積極的に提案し、市政を動かすためにがんばります。

とくに病院誘致問題については、誘致予定場所が適切かどうか、みなさんの必要としている医療が整うのかが大きな問題です。日本共産党は、救急医療に責任を持つ公的病院の設置に向けて取り組みます。今年もどうぞよろしくお願いします。

大阪維新の会 茨木市議団

岩本　守　円藤　こずえ
長谷川　浩　大野　幾子
萩原　佳　島田　彰子

あけましておめでとうございます。新しき年、茨木市の確かな未来をめざし、市民の皆さまのご期待に応えるべく、精励してまいります。本年もご厚誼のほど、よろしくお願い申し上げます。

一昨年からはじまった新型コロナウイルス感染症の猛威は、依然、予断を許さない状況が続いており、当たり前の日常生活が大きく制限されています。不安や緊張の中での生活が続き、市民の皆さまにさまざまな影響がでています。国はもとより大阪府や茨木市におきましても、給付金や支援金をはじめとする対策を行ってはおりますが、まだまだ十分とは言えない状況です。大阪維新の会市議団として、茨木市に数回に渡り、市民の生活を守るための要望を出してまいりました。さまざまな観点から要望しており、実現しているものも多くあります。未だ収束の目途が立たない状況ではありますが、市民の皆さまの生活を第一に、これからも積極的に要望してまいります。

また、まちづくりにつきましては、市民会館の建て替え、阪急茨木市駅西口の再整備、安威川ダム周辺整備他、いくつかの大規模事業が進行中です。どれも茨木市の未来につながる大切な事業ですが、単体で考えていては総合的なまちづくりはできません。茨木市のグランドデザインをしっかりつくり、その中での役割を果たす施設という捉え方が必要です。それは、建物というハードだけではなく、機能や活かし方等、ソフトを充実させることが重要だと考えます。

さらに、施設だけではなく、公費での防犯カメラの増設等、目の行き届いたまちづくりも並行して行うことも必要です。防犯カメラの増設は、市民の安全と安心を見守り、体感治安を良くし、犯罪の抑止、犯罪発生後の早期解決にもつながる重要施策です。

財政面では、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人所得・法人収益等の市税収入の動向が不透明な中、歳出面で、景気の停滞や高齢化の進展および保育・障害福祉に係る給付費等の社会福祉経費が引き続き増加することにより、厳しい財政環境になると見込まれます。歳出の約半分を占める民生費（子ども、高齢者、障がい者に対する福祉サービス経費など）や、次代を担う子どもたちの教育費などは減らすことはできません。教育という観点から私たちが推進してきました全員喫食の中学校給食は具体的な施策が進められます。

大阪維新の会市議団として、新型コロナウイルス感染症という未曾有の事態の中、議員自ら「身を切る改革」を実践するとともに、税金の不要な支出をしっかりチェックし、市民の皆さまに寄り添った取り組みを進めてまいります。

コロナ禍だからこそなおさら、「住んでよかった、住み続けたいと思える街、茨木」をめざして邁進してまいります。

皆さまからのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、今年一年が皆さまにとって、素晴らしい年となりますことをご祈念申し上げます。

安孫子浩子　稲葉通宣　西本睦子

あけましておめでとうございます。
安心して暮せる地域社会の実現を目指して
私たちもさらに全力を尽くします。
本年が皆さま方にとりまして、幸多き年に
なりますよう心から祈念申し上げます。

２０２２年 私たちが目指すもの

- 駅前送迎保育ステーションの設置
- 地域コミュニティ交通施策の推進
- 子どもの貧困対策

自由民主党・絆

新年あけましておめでとうございます

皆様におかれましては清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染予防に対する取組みに、ご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。引き続き市民の皆様の生命・健康を守り、生活の安定を第一に考えてまいります。

下野　巌

◎安威川ダム周辺整備基本計画も策定され、工事も順調に進んでおり、北部地域のさらなる魅力向上が期待されます。

上田　光夫

◎市民会館跡地エリアの整備事業も令和５年度の完成に向けて運営方法・事業の進め方の議論が進んでいます。

福丸　孝之

◎国の進めるＧＩＧＡスクール構想により一人一台タブレット配布が実施されました。今後はこれらを活用し、一人も取り残されることのない、充実した教育を実現してまいります。

永田　真樹

◎近年頻発する豪雨災害などを想定して、防災ハザードマップも改訂されました。災害に強いまちづくりを目指し、防災・減災に取り組んでまいります。

塚　理

我々、自由民主党・絆は、皆様が安心安全に暮らせるずっと住み続けたいまちづくりを目指してまいります。

市議会のうごき

10月	8日	議会広報委員会	
	18日	議会運営委員会	
11月	4日	議会運営委員会	
	10日	追手門学院大学生との意見交換会	
	16日	議会広報委員会	
		市民会館跡地等整備対策特別委員会	
	17日	追手門学院大学生との意見交換会	
	18日	市街地整備対策特別委員会	
	25日	幹事長会	
		議会運営委員会	
	30日	幹事長会	
		茨木市議会災害対策会議	
		議会運営委員会	

憲法が生かされる社会をめざして

無所属
山本よし子

市民のみなさんの思いに寄りそい、市民本位の茨木市を作っていきます。高齢者や女性、障がい者など弱い立場の人たちが、地域の中で生き生きと人間らしく生きていける社会を築きましょう。憲法に謳われている、平和と人権、生存権を守っていく政策を進めます。

辰見 直子

新年明けましておめでとうございます。

皆様とお約束していました、総合病院の誘致がいよいよ立地や開業時期を含めて明確になってきました。早期の開業に向け、また皆様の命と暮らしを守る政治を着実に進めるために、今年も全力を尽くして参ります。コロナも終息し、幸多き一年となりますよう祈念いたします。

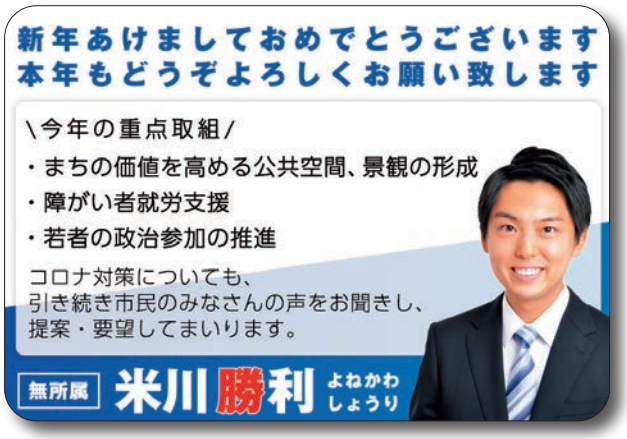
山下 慶喜

昨年10月末の総選挙は政権交代とはなりませんでしたが、野党共闘は大きく前進、参院選への希望を切り拓きました。

菅原文太さんが沖縄県民集会で政治の基本は誰も飢えないこと、そして平和だと発言されていました。

私にとっても平和憲法が何よりも原点です。これからも誰もが自分らしく生きられるよう、いのちと暮らし最優先の社会をめざして活動します。

皆様のご平安と幸多き新年を願い、ご挨拶とします。



#インスタグラムを始めました

茨木市議会では、議員と大学生との意見交換会の中で、SNSの活用に関するご意見をいただいておりました。それらを踏まえ、情報発信手段の充実を図り、市議会活動をより多くの方に知っていただくため、インスタグラムを開設いたしました。

茨木市議会のアカウントはこちらから
https://www.instagram.com/ibarakishigikai/

新春のご挨拶にかえて

持続可能な社会とまちのために。
多様性を尊び、 一人ひとりが自己決定できる公正な社会システムをめざします。
そのためにも、 市民の代表機関の構成員として、 将来世代を見据えた熟議に勤しみます。

無所属 ・桂 睦子

追手門学院大学生と意見交換会を実施

令和3年11月10日と17日に、追手門学院大学茨木総持寺キャンパスにおいて、追手門学院大学地域創造学部2・3年生の皆さんと「これからのコミュニティの活性化（10日）」、「これからの健康づくりと働き方改革（17日）」をテーマに意見交換を行いました。

2回の意見交換会では、それぞれのテーマについて、若い世代ならではの視点で、さまざまな意見やアイデアをいただきました。いただいた意見等を踏まえながら、今後の市政について、議論を深めてまいります。